



東庄町の家計簿



みなさんが納めた税金や、国や県からのお金はどのように使われているのでしょうか。令和3年度の決算をわかりやすくするために家計簿に例えてみました。コジユリンちゃんと財政状況を確認しましょう。(正式な数値は6ページにあります)

一般会計を1000分の1にして家計簿に例えてみました

収入		支出	
給与 (町税・地方譲与税・その他交付金)	194万円	食費 (人件費)	97万円
親からの仕送り (地方交付税・国県支出金)	367万円	医療費など (扶助費)	104万円
家賃収入 (分担金・負担金)	7万円	ローンの返済 (公債費)	41万円
貯金の取り崩し (繰入金)	3万円	光熱水費や通信費など (物件費・補助費など)	237万円
その他 (繰越金など)	84万円	家の建築・改修・修繕 (災害復旧費・普通建設事業費など)	64万円
ローン借入れ (町債)	57万円	貯金や投資 (積立金・投資・出資金・貸付金)	9万円
		子どもへの仕送り (繰出金)	59万円
収入合計	712万円	支出合計	611万円

ローン借入れや返済…東庄の財政は大丈夫？

？

ローン借入れや返済と書かれると、財政が不健全なイメージがわきますよね。

町が借り入れたり返済するローンは「町債」といいますが、実は町債には、現在の納税者と将来の納税者との間の負担の公平を図る機能もあります。

例えば、新しい小学校校舎を全額その年度の税収で建設したら、完成後に町に引越してきた人は、まったく建設費を負担せずに利用できることとなります。これだと、もともと住んでいた住民との間に不公平が生じてしまいます。借金の返済を長期にすると、新たに住民となった人も償還金という形で建設費を負担することになり、税負担の公平性を確保できるようになります。

借入金 (地方債現在高)

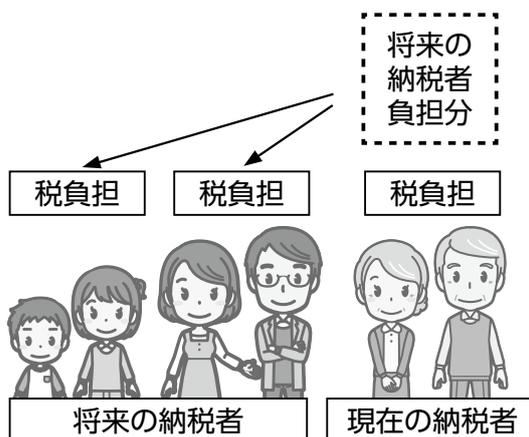
令和2年度末	令和3年度末
46億586万円	47億7,384万円

1億6,798万円 増

預金 (財政調整基金現在高)

令和2年度末	令和3年度末
9億480万円	9億481万円

1万円 増



長く使うものはいろいろな世代の人が負担すると公平だね！



この基準を超えると経営が悪い状態▼

東庄町の健全化判断比率		早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率 一般会計の赤字割合	赤字なし	15.0%	20.0%
連結実質赤字比率 町すべての会計の赤字割合	赤字なし	20.0%	30.0%
実質公債費比率 町債の返済がどれくらい負担になっているか	6.1%	25.0%	35.0%
将来負担比率 将来どのくらいの負担が見込まれているか	-	350.0%	-

資金不足比率	企業会計名	東庄町	経営健全化基準
資金不足比率 企業会計の赤字割合	水道事業会計	赤字なし	20.0%
	東庄病院事業会計	赤字なし	20.0%
	食肉センター特別会計	赤字なし	20.0%

町の財政は赤字じゃないってこと？

左の表を見てみると、東庄町は赤字になっていないことが分かります。また、町債の返済も、早期健全化基準である25%を大きく下回っているため、そこまで町の負担にはなっていません。

健全化判断比率の数値

？

が大きいほど経営は悪く、少ないほど経営は良好です。

町の財政は健全な状態なんだね！

令和3年度はこんな事業を行いました

例年実施している町独自の事業や新規事業などをご紹介します。



■ サテライトオフィス等開設支援事業 3,255 万円

機能の一部を町内へ移転する企業に対してオフィス開設の支援を行いました。



▲旧石出小学校を活用してワーキングスペースを開設（一般社団法人オンラア未来会議）

■ 住民税非課税世帯等臨時特別給付金 1 億 560 万円

住民税非課税世帯や、新型コロナウイルス感染症の影響で家計急変のあった世帯を対象に1世帯10万円を支給しました。

■ プレミアム付商品券発行事業 1 億 9,711 万円

1冊10,000円（商品券15,000円分）で販売しました。

■ 保育事業委託料 2 億 4,877 万円

町内在住者が通所している町内外の私立保育園への委託料です。



■ 子育て世帯への臨時特別給付金 1 億 5,900 万円

新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯へ対象児童1人につき1万円を支給しました。

■ 給食費助成金 4,309 万円

小中学校・こども園の給食費を全額助成しました。

